

# 新盛里山耕流塾

# NEWS もりの里 8・9月号

平成 22 年 9 月の「NEWS もりの里」をお届けします。  
あれだけ暑かった今年の夏ですが、やはり彼岸を過ぎると随分と涼しくなりました。ヒガンバナが咲き、田が黄金色に輝く美しい秋の景色が広がります。新盛地区は、心も体も大満足な収穫の季節を迎えました。

ご意見・ご感想はこちらへ  
足助支所地域振興担当 松原、山田  
TEL:(0565)-62-0601  
E-mail:  
[asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp](mailto:asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp)  
発行:足助支所 発行日:平成 22 年 8 月 1 日

バイオガス講座、旬裁食などの講座に加え、ついに拠点施設の建築工事がはじまりました。

## 拠点施設

### 9月から建設工事がはじまりました！



みなで工事の無事を祈願しました

今後順調に工事が進むと、10月末に上棟までが完了し、11月以降屋根や土壁の施工が始まります。年明け1月ごろには、内装工事に取り掛かり、2月末には外構工事やピオトープ設置までが完了する計画です。

里山耕流塾の拠点施設建設工事がついに始まりました。工事を担当するのは豊田市内に本店を持つ水嶋建設株式会社です。9月7日には安全祈願祭を行い、工事完成までの無事を祈願しました。



完成予想図

## 間伐作業も実施中！

6月から始まった間伐作業も暑い夏をものともせず鋭意実施中です。雑草やうっそうとしていた樹木も整備され、徐々に環境が整ってきました。



間伐作業実施前



間伐作業実施後

## トヨタ労組農業体験講座

### 無事稲刈りができました！



5月に続き多くの方が参加しました

今年から始まったトヨタ自動車労働組合の農業体験講座が9月25日に開催されました。5月に手植えした田んぼで、待望の稲刈りです。5月同様に、豊田市長も飛び入り参加しました。収穫したお米は11月の収穫祭で、味わう予定です。



機械を使わず全員で手刈りしました。

# 旬裁食

## ドロンコ稲刈りの巻

9月25日に開催された旬裁食では、稲刈りをおこないました。5月の手植えに続き、一部機械を使いましたが、手作業とする昔ながらの作業です。

作業前に降り続いた雨のせいか田んぼはぬかるんでおり、参加した子供たちは、田植えのときと同様に泥だらけです。大人も足を取られて大変な作業でした。

刈り取った稲はまとめて稲掛けをして、次回の脱穀に備えま



少人数ですが手刈りで頑張りました。



稲掛けも結構大変でした。

## 試食メニュー

今回の試食は、石釜を使ったフォーカッチャとモロヘイヤスープです。ナスやタマネギ、またカボチャやジャガイモなど地元の野菜を自由にトッピング。オンリーワンのピザの出来上がりです。



野菜もたっぷりトッピング



## バイオガス活用講座



木材を加工して、ガス発酵槽に木枠を設置します



ガス貯留バッグの設置作業です

## いよいよ完成間近！

22年1月から開講したバイオガス講座。あれから9ヶ月が経ち、いよいよ完成まであと一步のところまで来ました。寒くなると化学反応の関係でバイオガスの生成が十分にできないため、9月は突貫工事でプラント製作を進めました。合わせてガスを発生させるタネ菌とするため、牛糞や鶏糞を調達し、ガス発酵槽に蓄える作業も敢行。暑さにも臭いにも負けずに参加者は元気ががんばっています。「冬までにはガスを使っておいしいコーヒーを飲むぞ！」が参加者の合言葉。



柱の補強をして、屋根は完成です。



タネ菌として、牛フンを投入します。

## 受講生の感想

刈取り作業は大変だけど、気持ちの良い汗をかくことができた(旬裁食)  
マ、マ、マムシ~!!。(旬裁食)  
栗やブルーベリーなど手作りのおいしさに感激。(旬裁食)  
ここまでくるともう意地です。臭いにも負けずに頑張るぞ!(バイオガス)